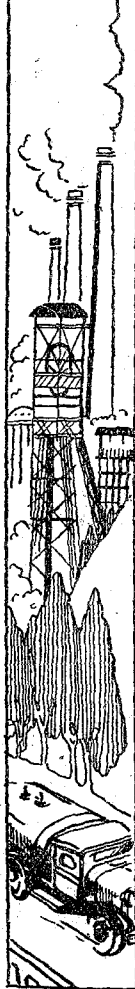


時 論



建設事業の心理的一考察

中川 幸 太 郎

建設事業を自然科学的方面技術的方面又は財政的方面より觀察することは、既に各方面のエキスパートにより殆んど完膚なき程度に論議研討されてをりますことは申すまでもありません。筆者淺學菲才をも省みず之れを唯心的又は心理的方面より考察し、聊か卓見を披瀝致したいと思ひます。幸に明察御批判を賜らば無上の光榮とする所であります。

天地一切の現象は氣分、雰囲気、精神といふやうな心的作用に支配されざるものは殆ど無いと申上げても敢て過言なからうかと思ひます。榮枯盛衰、成功、失敗、幸運、逆境といふが如き現象は我々人間の思念の反映に過ぎざるものであります。其思念が善念又は正念なるときは榮達成功、幸運、健康といふやうな現象を人間界へ具像化し、其の思念が悪念又は邪念なるときは衰亡、失敗、逆境、病氣といふやうな現象を客觀化するものであります。人間や物質は凡て念の具

像化せる精神的存在であると自覺し、善念を以て生き惡念に捉はれざる時は其の善念の反映として、成功、幸福、健康といふやうな現象を顯現するに至るのであります。之れに反し人間や物質は唯物的有限的存在であると自覺するときは有限的物質に捉はれるが爲め、使へば疲勞し、減少し、消耗し、萎縮することゝなり、勞働時間を制限しなければ體位の向上が出来なくなり、物質的機械的存在である人間には機械的能率に相當する賃金給料を與へばよいといふことになり、本來精神的存在であるべき人間を拘束し、其生命力其精神力の昂揚を抑壓することゝなるのであります。而して人間を拘束し抑壓せんとする惡念の反映として、人間の活動力は萎縮減退し失敗、不幸、病氣といふやうな現象を具現するやうになるのであります。事業に従事するものは人格の自由を拘束され、仕事に興味を持つことが出来なければ不平不滿の心をして機械的に働かなければならないといふことになり、事業は益々不振の状態に陥いるのみならず、従業者自身は益々疲勞を増し、意氣消沈し病氣となり、遂に怠慢解職といふやうな逆境に陥入るものであります。又富めるものは金に捉はれ金を費へば失くなるから一旦擱んだら離さないといふことゝなり、金を生かしめず、廻さないといふことになり、生産起らず物資缺乏し貧者益々増加して不景氣となり富める者のみ五官的快樂に耽けるといふやうなことになりますならば、利己心、恐怖心から生ずる惡念の反映として人間界各所に弱肉強食、暗取引、家庭争議、病苦といふやうな現象を現はし、甚しきに至りては直接行動、破壊運動といふやうな、コミンテルンの極悪相を具像化するに至るのであります。現在世界に殺戮戦争亡國といふやうな現象の堪えないのは、世界人心の唯物思想ユダヤ式利己思想等の惡念の自壞作用が行はれてゐるのであります。蔣介石等の連戰連敗、衰運悲境は彼等の容共、抗日の惡思想と利己榮達の惡念との自壞作用に過ぎざるものであります。

近時各種の建設事業が人的資源の缺乏と、建設資材の缺乏とにより多大の支障を蒙つてをりますことは事實でありますけれども、其最大原因は人間や物質を餘りに有限的存在であると考ふる唯物思想の反映であると信するものであります。戦時數百萬の動員の結果男子二十年乃至三十九年の者約壹千五百萬人中より動員數だけ銃後に於ける勞力の不足は大體肯定し得る所でありますけれども、我國の如き年々六十萬乃至百萬の人口増加に恵まれてをります國家に於ては、其位の頭數の勞力の不足は敢て悲感するに及ばないのであります。我國民は悉く神國日本の皇道精神に燃ゆる精神的存在でありますから各自は此の大理想の下に光明希望に輝きつゝ働きましたならば、如何なる困難に遭遇しましても之を突破完徹する勇氣に富んでをるのであります。無限の精神力、生命力を發揮して天下無敵の活動が出来る國民性があるのでありますから、いざとなれば平時の數倍の働きが出來、人間力以上の活動が出来る精神的素質を持つてをるのであります。

然し如何に崇高神の如き國民精神を有する人間でありましても、銃後に於て物質的、機械的存在の如く勞働を強制され、虐使されますならば元氣消沈し光明希望を失ひ生活に脅威を感じ、其の生命力、精神力は萎縮消耗するのみであります。而して其の使役者、指導者の惡念の反映として人的並に物的資源の缺乏といふやうな現象が現はれるのであります。之れに反し人間の生活を保證するに足る適正なる賃金給料等を與へ、物價の昂騰と同率に其支給を昂騰増加せしましたならば、人間は歡喜の中に自己の生命力、活動力を無限に發揚することが出來、緊縮はしても敢て畏縮することなく、又勞働時間の制限がなくとも體位の向上が計られるやうになるのであります。恰かも登山者が困苦艱難を突破して頂上を征服することが出来るのも、炎天のグラウンドに終日外野に野球を觀覽しながら日射病にもかゝらず、疲勞をも感じないのは其

行動に興味を感じ、喜悅の三昧境に入るからであります。斯くの如く如何なる事業といへども之れを興味化せしめて働かしむるならば勞力資源を自ら豊富ならしむることが出来るのであります。一俵の石炭、一俵の木炭の生産にしても掘り甲斐があり、造り甲斐があり、出し甲斐があるといふ興味を持たしめましたならば昨秋の如き拂底缺乏は大に緩和せんことであらうかと考へられます。就業勞働者の精神を昂揚せしむるが如き心的技術を施しましたならば、平時の數倍の活動力が顯現するものであります。

善隣有好、防共協定、經濟提携の三大理想の下に東亞建設の聖業を完遂せんとする目標には何等異存のない所でありますけれども、銃後の勞働者が拾年二拾年孫子の時代になつても子女の教養さへ出來ず、生活に困窮しつゝ浮ぶ瀬もなく永久にルンペンに終らなければならぬと思念するに至りましたならば、其迷念の反映として彼等の生命力、精神力は死滅衰亡の途をたどるのみであります。

三

建設資材の擴充や物資増産計畫の如きものも畢竟眞の勞働力、人的生産力の擴充が出來れば敢て困難なる事業ではないのであります。天然資源は世界を通じて發明發見と共に無限に供給され、其資源により各種の資材が無限に生産されるのであります。

唯物主義經濟論者が金の海外流出を極端に恐れるならば、只貿易の帳尻を合はすことのみを考ふるやうになり、必要限度の公債紙幣さへ發行することを躊躇するやうに消極的になるのであります。大乗的に世界の生産物が有無供給の融通性が完全圓滿に遂行せられるやうになりますならば、敢てアメリカの死藏金を羨望する必要なき光明世界を顯現すること

が出来るのであります。之れに反し唯物主義經濟政策のみに據らんとせば、人的生産力の消耗と共に物的生産が著しく減退するに至るのは當然のことであります。國民の心を生かすことを考へず、國民の心を殺し、心を腐らせ、物は物とし有限的機械的に統制すればよいと考へ、國民の生命力、精神力を伸張せしめ鼓舞する方法をとらず、物を生み出す所の國民の元氣を殺すのは唯物的技術のみを考へて心的技術を施さざる結果であります。人間は働けば働く程達者になり、體位の向上が計られ恐怖心なき本當の健康幸福を樂しむことが出来る精神的存在でありますから、歡喜の中に無限の生命力を昂揚せしむるやうな心理的技術を施しましたならば、消費力の數倍の生産力を現はすに至るものであります。而して生産増加と共に賃金給料等を物價の昂騰と同率に昂騰支給しましたならば、購買力は一定限度に保持されて決してインフレなどの惡現象は起るものではないのであります。

四

建設事業に必要缺くべからざる業務は、建設敷地の測量と其測量を基本としての計畫設計を樹てることであります。此等の事務が不完全に行はれましたならば建設工事の遂行に一大支障を來すことは申すまでもありません。故に測量設計等に従事すべき技術員、事務員の職責は非常に重大であります。而して彼等は夫々上長の指揮命令により、夫々其の活動に移るのでありますから、上長の指揮命令も亦頗る重要性を持つものであります。此の指揮命令の適否如何によつて従業員の精神を昂揚せしめ、又は消沈、怠慢、失望に終らしむるものであります。

機構上よりいへば上長は下僚より上席の職務權限を與へられて居りますけれども、相互の職務には何等上下、貴賤の區別のある筈がないのでありますから、上長は常に愛の心を以て下僚を尊敬感謝し、其言語態度に於ても常に善念正念を以

て指揮命令を下すべきものであります。指揮命令すべき事項の重要性を懇切丁寧に下僚に傳達熟知せしめ、下僚の技量手腕に信頼して毫も疑念を抱かず、下僚の人格の自由を認めて其の個性を生かしめ、自我我執の尺度を以て下僚を拘束することなく、極力善念善言を以て督勵し下僚をして歡喜感激の中に活動せしむるやうに導き、建設物の經濟的價値と其安全率等を度外視して只安い物を造り、安く仕上げればよいといふやうな金錢に捉はれ、下僚の技術的立場なり事務的信念を無理に束縛するやうな惡念に驅られてはならないのであります。指揮命令に於ける上長の善念善言は必ず下僚の精神力を命力に反映して此の業務の爲めなら、此の上長の爲めなら喜んで自己の精神力を集中して献身の活動を致したいといふ自覺が感應して來ますから、業務の程果は必ず完全なる効果を具像化するに至るものであります。之れに反し下僚は給料により其職責を盡すべき物質的、機械的存在であるから給料に相當する仕事しか出來ないものであるといふやうに、下僚の手腕を疑ひ、輕蔑せる思ひやりのない思念を以て指揮命令致しましたならば、上長の唯物主義的利己心、高慢な心、疑ふ心、思ひやりのない心の惡念の反映として下僚を拘束し不平不滿の念をいだかしめ、遂に不完全なる作業を具像化するに至るものであります。而して上長下僚の惡念惡感の集積が建設事業全體に反映して事業の失敗、缺陷等の現象を客觀化するに至ることは更に疑ひの餘地がないのであります。

五

斯くの如く測量、設計計畫、土地買収等の事務を完了して工事を實施することとなりますれば、工事の現場監督員の手腕に委ねることとなるのであります。此頃のやうに公定價格集とも稱すべき設計金額の範圍内に於て、請負に附したる場合を考へて見ますならば、工事監督員の心理は設計金額以下の金額にて請負はしめた工事であるから果して設計通りに

完全に仕上るかどうかといふ第一に不安疑ひの惡念に驅られるのであります。然し一旦請負はしめたからには請負人は損をしても責任上仕上げるだらうといふ、損をするかもしれないといふ第二の惡念に襲はれるのであります。請負は損をした所が自分は工事を完全に仕上げさす爲め嚴重な監督をせなければならぬ、損を埋合はすやうなごまかしや工事の手を抜くやうなことはさせたくないといふ、第三に惡事に對する警戒の惡念に充たされるのであります。斯くの如く監督員は不安と疑心と拘束と警戒と人を咎めるやうな惡念迷念をいだきながら工事の完全施行を督勵すべき苦境に立たなければならぬのであります。請負人の方ではどうせ設計金額以下の安い見積りにて引受けた工事であるから、公定價格にて買へるやうな資材は血眼にて集め、集められなければ暗取引をしても買集め資材に對する損害は勞働賃金の頭をはねてでも補願せんとする損害に對する第一の惡念に驅られるのであります。充分なる賃金を支拂はざる爲め勞働者の元氣を消沈せしめ、之れを拘束酷使せんとする第二の惡念に驅られるのであります。又監督餘りに嚴重なるが爲め監督の目を盗み其束縛を逃れて自由に工事の進捗を計り、隠れて罪を犯すといふやうな第三の惡念に陥るのであります。

其他監督員の素質、手腕、請負人の性能、手腕、工事の種類等により千差萬別の惡念に驅られる場合が多いのであります。而して監督員も請負人も勞働者も各人各様の惡念の集積に驅られながらも、工事の完成を計らなければならぬといふ矛盾撞着せる環境に陥入るものであります。惡の因縁惡の魅力は實に恐るべきものでありまして、前述の如き惡念の集積に驅られる工事は其の惡念の自壞作用として工事の失敗、破壊、死傷、紛争、疑獄といふやうな不祥事件を具像化するに至るものであります。

建設事業に附帯すべき土地買収の事務につき考察すれば、買収當局が土地所有者の納得せざる價格を以て高壓的に其承諾を強要し、土地收用法といふが如き強制手段を以て威嚇せんとするときは、其の惡念の反映として土地所有者の不平等の念を買ひ、其憤怒反抗の惡念を咬り暴外不當の要求を以て之れに對抗し、事業の進捗を妨害せんとする現象は全國各所に頻出する所であります。土地所有者の中には公正なるもの、又然らざるものあり又全然無智質朴にして外部の煽動に乗ぜられ爲めにせんとする者の奸策に利用せられる者もありまして、一律の接抄の解決するを得ざる相當困難なる事務であります。然しながら如何に惡魔に魅せられたる人間といへども其本質に於ては良心善念を有するものでありますから、買収當事者が眞に善念誠意を以て一貫せば、必ずしも解決しがたき問題ではないのであります。同胞の親しみと互に尊敬信頼すべき愛の心を以て一切の惡念惡相に捉はれず、又之れを咎めず誠意を披瀝して談合協議を盡しましたならば、圓滿解決の途に到達し得るものであります。例へば其の土地より生ずる收益の限度を公正に調査し、又其の土地に潤ほすべき事業の直接間接の利益等を詳細具體的に調査對照して相方納得の上協調を遂げましたならば、必ず適正なる解決點に到達することが出来るものであります。若し事業の性質が國策に關するが如き重要性がありましたならば、我れは官吏であるぞ國策會社員であるぞといふやうな驕ぶる心を其言葉態度にあらはさず、特に懇切丁寧に分り易く善言を盡して説明の勞を惜まず根氣好く熱意を以て交渉を遂げまして、土地所有者の種々なる希望計畫を水泡に歸せしむることなく、最善の努力を要するものであります。國策に關する事業は申すまでもなく、國家喫緊の重要事業でありまして皇運の興隆に貢獻せんとする聖業の一端でありますから、買収當事者の思念、言語、態度によりましては聖業の遂行に關し、反感思想をいだかしめることとなりましては誠に畏れ多い次第でありますから、特に土地所有者の人格を尊重し、其慈悲心、愛國心に訴へ聖業の一端を協力遂行せんとするが如き、皇運の進展に寄與せしめんとするが如き善念善言を盡して交渉いたしましたな

らば、恐らく日本臣民としては無謀な反逆心を起すやうなことは絶対にないことを保證出来るのであります。殊に我國土は悉く上陛下のしろし召さるゝ所でありまして、國民は一時其土地の所有權を認められてをるに過ぎないことを感謝致しますならば、上陛下の爲め國家の爲め、國策の爲めなら一土地の所有權位返上するのは何でもない。而も此の事業が皇軍の活躍に資する國防上の資源擴充等の原動力ともなるべき重要性があることを知らしめたならば、如何なる國民といへども非國民となり、不忠の誹りを招くことは絶対に出来ないのでありますから、相方本來の善念を喚起して圓滿に解決することが出来るものであります。

七

之れを要するに凡ゆる建設事業を遂行せんとするに當りては科學的、技術的、財政的等各方面の研究考察の完璧を期することは緊要でありますけれども、更により以上に建設事業の心理的考察的技術等の完璧を期することが最も緊要であります。

此の事業に従事する上長、下僚、労働者は努めて善念正念を發散し、善言を放送することに専念し、惡念惡相に捉はれず又之をのさばらせず類は類を招ぶ所の善業惡業の精神的法則を自覺し、上意下達下意上達の中にも各自の思念が如何に恐るべき現象を客觀化するに至るかを知らなければなりません。特に事業の最高主腦者は其従業員は凡て自己の家族なりと思念し、其功を思ひ、其伸びるを見て喜び其の樂しめるを見て喜び徒らに之を解雇せず、其生命力、精神力を束縛せず其の人格の自由を認め互に信頼し互に敬愛し、互に感謝し、歡喜明朗の中に就業せしめ、機構組織は悉く従業員の生命力精神力を昂揚せしむべき手段として、之れを束縛死滅せしむるが如き手段となさず此の事業が如何に社會國家に對し有意

義に發展し、貢獻して行くかを絶えず研究して徒らに算盤尻を合はずことのみに没頭せず、背水の陣を布きつゝ全力を集中し、家族軍を引連れ勇敢に進軍すればよいのであります。若し事業の進捗狀況等を視察する場合に於ては、たとへ數分間なりとも現業員に對し善念善言を以て其の業務に感謝督勵をなし、彼等の精神力、活動力を昂揚せしむることに努力したならば、必ず彼等に信頼感謝の善念を感應せしめて善業を顯現するに至ることは更に疑ふべき餘地がないのであります。斯くして上長、下僚、勞働者は一億一心となり互に相信和し、相協力し自信は他信を他信は自信を招きて自他一體の美德が整ひ事業の成功力は益々大きく感應してくるものであります。而して事業の興味は津々として湧き出て如何なる業務も相互の生命力を伸張せしめ、其能率を増進せしめ、我物と思へば輕し傘の雪といふやうな心境となり、義務觀念と愛他、愛社、愛國の觀念とがびつたりと結合して始めて無限の活動力が生きて來て益々事業の大成を客觀化するに至るものであります。

實に三界の唯心の所現でありますから、茲に聊か建設事業の心理的一考察として事業關係者の善念正念の總動員を強調して本編を擱筆するものであります。

